

最も進歩した、口臭ガス測定システム

トータルガス・ディテクター・システム

RefresTM HR

リフレス BAS-108

呼気、口腔ガス、さらに鼻咽喉を
区別して測れるのが特徴です。



〈特長〉

1. 操作の手順をわかりやすくLCDで表示。
2. 口腔内ガスと呼気ガスを数値化します。
3. 高感度センサーを覆るエア・クリーナ機能を内蔵。
4. 消耗品が少なく、ローコスト
5. コンパクト設計で、チェアサイドでの測定に最適です。

たったの20秒

口臭の数値化は、正しい治療への橋渡し。

7割の患者様が「自分には口臭がある」と考える今、患者様の「思いこみ口臭」に客観的な数字で安心を与えます。

また実際に口臭がある方にはその自覚と原因を判断することによって口臭改善に大きな効果をあげます。

診療の一環として、新しい顧客満足を得るのにお役に立つ測定器です。

口臭を簡単に測定できます

「リフレス」は、マウスピースをくわえてわずか20秒という短時間で口臭が測定できる呼気・口臭測定器です。患者様への負担も少なく、マウスピースの方向を変えるだけで、口腔内ガスと呼気ガスを測れる画期的なシステム。口臭の診断、治療効果の確認が簡単にでき、客観的評価により患者様の口臭への正しい認識と治療への意欲が高まります。

リフレス表示値	口臭の感じ方
～30	口臭を感じない
～50	口臭をかすかに感じる
～70	いつも口臭を感じるようになる(治療対象)
～90	明らかに口臭を感じる(治療対象)
～100	つよく口臭を感じる(治療対象)
101～	測定範囲を超えています(治療対象)

【リフレス値[※]とその読み方】

測定値はリフレス特有のモノサシ、「リフレス値」で表します。リフレス値は、0～100段階表示で、臨床所見の「支援(サポート)情報」として活用できます。

■口腔リフレス値(OR値、Oral Refres Value)

口腔ケアの指標として有用です。正常OR値は30～40で、OR値が低いほど細菌数(活動度)が低く、口腔内が清浄であることを示します。これが高くなるとどこかに細菌増殖の要因が考えられ、口腔内ケアの必要が考えられます。

■呼気リフレス値(BR値、Breath Refres Value)

主に腸内細菌の活動度を示します。正常BR値(空腹時)は30～40ですが、これは飲食・喫煙後に大きく影響され高値を示します。一般にBR値は一日の変動が大きく、空腹時に低く食後2時間後から高くなるという「日内変動」があり、頃合いに変化するのが正常な消化管活動であると考えられています。しかし、BR値がいつも低いときは消化管活動が低下している(便秘?)、またいつもBR値が高い場合は呼気口臭に影響する場合があります。

※リフレス値とは、ウェーブ・フェブナー則に従ったセンサー出力を100等分したもので、独自に定義された値です。

RefresTM HRの主な仕様

製品名	トータルガス・ディテクター リフレスHR	型 式	BAS-108
センサー	高感度半導体ガスセンサー		
ガス感度表示	0～100の数値表示(リフレス値)		
使用条件	温度：0～40℃ 湿度：結露なきこと		
電 源	AC100V 50/60Hz 5W(最大10W) 専用ACアダプター使用		
外形寸法	260×118×42mm(突起部除く)		
重 量	約1Kg(本体のみ)		
商品構成	本体(BAS-108) 標準付属品：ACアダプター(1個)、滅菌フィルター(3個)、マウスピース(呼気・口腔兼用5本)、プリンタ用紙(ロール紙2巻)、インクリボンカセット(1個)、取扱説明書(保証書付)		

●リフレスHRの機能・性能の向上のため、事前のお断りなしに仕様の変更をすることがあります。